

見学会第四弾

ソーラえエコっちゃ

NPO・企業・行政の協働の仕組み、システムを見せてもらい参考にしましょう。市民を広く巻き込んだ野洲市オリジナルな**地域通貨(すまいる)**を発行しておられます。

市民・商店、企業、事業所・行政・NPO、**皆が喜べるスタイル**を考案されました。交野に生かせるのか？ 皆で聞かせてもらいましょう。 **家棟川エコ遊覧船**に乗ろう。

2010年4月に三菱電機中津川製作所・5月に日高港新エネルギーパーク・6月に洲本エネルギーパークそして今回第四弾!

7月21日(水)は野洲市へ

参加費 1000円 (定員 20名)

実費として 遊覧船代金 1500円 湖魚食 1500円(希望者)

- 8時 JR河内磐船駅 関西スーパー側 出発 (7:45集合)
- 9時30分 滋賀県野洲市着 (太陽光発電や地域通貨についてのレクチャー)
- 12時00分 家棟川エコ遊覧船にて昼食 (雨天の場合田園空間博物館)
- 13時30分 銅鐸博物館や地域通貨体験等 (予定)
- 16時00分 現地出発
- 17時00分 JR河内磐船駅着 解散

参加申し込みは **893-1716** 山本まで
定員になり次第締め切りとします。



全国的にも、地域通貨を導入し地域経済の発展を推進する自治体は多くあるが、環境をテーマに地域通貨を導入し、収益で太陽光発電を設置する取り組みは稀有な試みである。



家棟川エコ遊覧船は船上から川や自然を楽しむと共に、ごみが捨てられている家棟川の現状を野洲市民の皆さんに知ってもらおうと、昨年6月から運航を開始。川の歴史や川にすむ生物などの話を聞きながら、櫓こぎ船に乗ってゆっくりと川を遊覧する。地元の漁師や農家、学校の先生や画家といったさまざまな経歴を持つ24人が運営。また「野洲市里川づくり委員会」に所属し、四季折々の風情が感じられるように柳の木を植えたり、ホタルが再び生息できるように清掃活動を行うなど環境保全活動にも力を注いでいる。